

# はしか



台湾ではしかの流行があり、それが名古屋の辺りに伝わり数人の患者が出たということだ。

この連休で大勢の人が日本を移動しました。その結果、はしかがあちこちで出ないか心配されます。

幸いあまり報道されていませんのでうまくいっているのでしょう。私たちもこの頃「はしか」をほとんど見かけていません。もう一度「はしか」について調べなおしてみます。

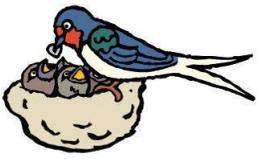


麻疹(はしか)ウイルスに感染するとウイルスは約十一日間で発症します。38℃前後の発熱や咳ではじまるので「かぜ」かと思っていると目が充血し目やにも多くなります。

発症後2〜3日すると口の中に口内炎のような白い水疱が出ます。これをコプリック斑といいはしかだけにみられる特徴的なものです。カゼの様な症状が2〜3日続いたあと熱が1度解熱しますが、1日位で再び上昇しはじめ全身の皮膚に赤い発疹が現れ、本格的なはしかが始まります。発病後4日目頃から顔や胸に発疹が現れ腹、腰から太ももへと広がります。



発疹は桃色で、初めはノミに刺された程度のもものが散在しますが、時間がたつにつれて増え、隣り合った発疹がくっつき合い大小不規則な形になります。熱も日ごとに上昇し発病後6日目頃には39℃前後になります。7日目頃がピークで以後は急速に回復に向かいます。



兄弟姉妹や幼稚園、学校の友達の内にはしかにかかった子供が出て、まだはしかにかかっていないとか、はしかの予防接種を受けていない場合は早く小児科や内科医に相談しましょう。

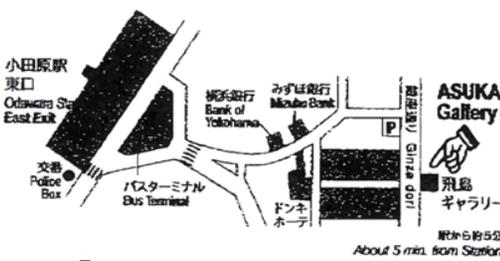
発症しないうちは、ヒトガンマグロブリンを注射する方法で、はしかを予防したり、軽くすませることが出来ます。



## 喜寿記念個展開催 七月十一日〜十六日 小田原市飛鳥画廊

院長は、これまで旅行先のスケッチや少し大きい絵を画き、待合室や診察室に展示してきましたが、これを集めて喜寿に達したのを機会に展示してみようと、計画致しました。機会がございましたらご高覧下さい。

■ 会場: 飛鳥画廊 小田原銀座通り  
〒250-0011  
小田原市栄町2-13-12  
☎: 0465-24-2411



院長

みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

☆受付けからのお願い

月初めには必ず保険証を受付にお出し下さい。診察券は毎回お持ち下さい。

☆編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。



### 5月・6月の休診日

休診 日曜・祭日  
午後休診 水曜・土曜



E・メールを送って下さい。  
norikazu@okutu.jp